

DAITO ROTARY

OSAKA JAPAN

CLUB WEEKLY BULLETIN

第2660地区
大東ロータリークラブ

- 事務所
〒574-0046 大東市赤井1丁目2-10
ポップタウン住道本館4階
TEL:072-875-1200
FAX:072-875-0590
E-mail:office@daito-rc.org
http://www.daito-rc.org/
- 例会
毎週火曜日 12時30分~1時30分
〒574-0076 大東市曙町4-6
大東市民会館 4階「大会議室」
TEL:072-871-0001

◆4つのテスト◆

言行はこれに照らしてから

- ① 真実かどうか？
- ② みんなに公平か？
- ③ 好意と友情を深めるか？
- ④ みんなのためになるかどうか？



創立 1967年 12月 26日

- 会長 上田 正義
- 幹事 小川 芳男
- 会報委員長 杉原 巨峰

大東ロータリー会長テーマ

「今を生きる、そして未来につなげる」

2013年~2014年度
国際ロータリーのテーマ

ロータリーを 実践し
みんなに 豊かな人生を

国際ロータリー会長
ロン・D・バートン

平成 25 年 10 月 29 日

No.2225

H25.10.22 (No.2224 の例会記録)

今週の卓話 (10月29日)

「大阪府の森林」

東野 喜次 会員

次週の予定 (11月12日)

「ガバナー公式訪問」

福家 宏 ガバナー

先週の例会報告

◆ 出席報告 (10月22日分)

会員数 43名 出席数 31名 欠席者 6名
特定免除 6名 その他免除 0名
出席率 83.78%

前々回 10月1日分

ホームクラブの出席者 21名 70.97%
メイクアップの結果 31名
特定免除 11名 その他免除 0名
欠席者 1名 修正出席率 96.88%

ゲスト 米山奨学生 シュレスタ リエさん

今月のテーマ

「職業奉仕月間」「米山月間」

ロータリーソング

「それでこそロータリー」「四つのテスト体操」

ニコニコ箱

裏面に記載



皆さんこんにちは、例会出席ありがとうございます。
先週は休会でしたので2週間ぶりの例会です。

10月8日の情報集会の出席ありがとうございます。
お礼申しあげます。佐藤職業奉仕委員長ご苦労様でした。



今月は、米山月間ですので、皆様方すでにご存知かと思いますがロータリー米山記念奨学事業について少しお話しをさせていただきます。
日本のロータリーの創設者、故・米山梅吉翁の偉業を記念し、後世に残るような有益な事業を立ち上げたいと、1952年東京ロータリクラブが発表したのは、海外から優秀な学生を日本に招き、勉学を支援する奨学事業「米山基金」の構想でした。そこには、二度と戦争の悲劇を繰り返させないために、国際親善と世界平和に寄与したいという当時のロータリアンたちの強い願いがあったのです。クラブ単独事業として始まったこの事業、わずか5年で日本全国の共同事業へと発展。1967年には文部省（当時）を主務庁とする（財）ロータリー米山記念奨学会が設立されました。歴史的にも世界に類を見ない日本のロータリー独自の他地区合同活動となっています。60年にわたって受け継がれている事業です。年間の奨学生採用数はおよそ700人、事業費は13.6億円と国内では、民間最大の国際奨学事業です。これまでに支援した奨学生数は、累計で17,545人です。その出身国は世界121の国と地域に及びます。

「将来の日本の生きる道は平和しかない。その平和日本を世界に理解させるためには、アジアの国々から一人でも多くの留学生を日本に迎え入れて、平和日本を肌で感じてもらうしかない。それこそ、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないだろうか」「ロータリー米山記念奨学会史」に謳われております。

現在政治的に、尖閣諸島問題で中国・慰安婦問題で韓国・靖国参拝等で関係がギクシャクしておりますが、民間交流は変わらず行われております。地道な活動ですが奨学生が日本で勉強し、日本で生活をし、日本人を理解してもらい、ロータリアンとの交流を通じて、一人でも多くの米山記念奨学生が自国と日本の未来へかける平和の架け橋になってもらえれば、国を超えて一つになるのではないのでしょうか。戦争の無い平和な世界に。

ロータリアンとして、一人の人間として、「今」何が出来るか考える時ではないでしょうか。

ありがとうございました。





委員会報告

◎ニコニコ箱

東野 喜次 委員長

- | | |
|---|---------|
| ・入会記念日 自祝 | 上田 正義 君 |
| ・入会記念日 自祝 | 東野 喜次 君 |
| ・入会記念日 自祝 | 森岡 信晶 君 |
| ・誕生日 自祝 | 清水 修 君 |
| ・例会出席ありがとうございます 感謝 | 上田 正義 君 |
| ・10/8 の情報集会忙しい中
多数の出席ありがとうございました 感謝 | 小川 芳男 君 |
| ・10/20 大雨の中 地車曳行しました 無事故で感謝 | 大西 寛治 君 |
| ・福富先生ありがとうございました | 中原 毅 君 |
| ・子供の運動会に行って来ました | 高島 登 君 |
| ・神戸ゴルフクラブに行ってきました
日本で初めて出来たゴルフ場です | 佐藤 多加志君 |
| ・京都でおいしい鳥なべを食べて来ました 感謝 | 木村 克己 君 |
| ・佐藤さん色々ご指導ありがとうございました | 中野 秀一 君 |
| ・谷中さん、守口の夜有難うございました
高島さん、お世話になり有難うございました | 東村 正剛 君 |
| ・子供が無事生まれました 感謝 | 間 紀夫 君 |
| ・皆様のニコニコに感謝 | 東野 喜次 君 |
| ・前回お休み失礼しました 写真ありがとうございました | 森岡 信晶 君 |
| ・家族会欠席 お詫び | 清水 修 君 |





◎米山奨学委員会

大東 弘 委員長

下記のとおり地区より米山奨学の寄付につきましてお願いが届いております。
一部省略のうえ掲載させていただきます。

RI D2660 各 RC

会 長 各位
米山奨学委員長

2660 地区米山奨学委員会
委員長 西谷雅之 (大阪城南 RC)

2013-2014 年度米山奨学寄付金目標「おひとり 3 万円」の設定とお願い

平素は米山奨学事業に対し多大なるご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。お蔭様で当 2660 地区における本奨学事業は我が国のロータリー活動の中でも極めて活発に推移しておりますことで同慶の至りでございます。

さて、「本年度では米山奨学寄付金目標をおひとり 3 万円と設定させていただき、ロータリアン各位にお願い申し上げて行く」ことにつきましては、すでに本年 3 月の PETS や 4 月の地区協議会で私よりお伝えしており、また、その背景などについては本年のガバナー月信 8 月号で説明させていただいております。

福家ガバナーからも、米山奨学事業が我が国の全ての RC が一丸となって取り組むべき共同事業としてしっかり位置付けられていることに鑑み、この度の目標設定について十分なお理解と強力な支持並びに激励の言葉をいただいております。

貴クラブ会員のみなさんには昨年度まで可能な範囲でのご厚志をいただき、深謝申し上げているところですが、今年度は普通寄付金 5 千円も含めて「おひとり 3 万円の寄付」を具体的に実現していただけますように、どうかよろしくお願い申し上げます。

ー以下省略ー

会長 上田 正義
幹事 小川 芳男

上記のように本年度は地区より 1 万円の増額の要請がありました。

会員皆様におかれましては、ロータリークラブ関連で出費の多い中、この主旨にご賛同の上でき得れば例年の 1 万 5 千円に+αの増額をお願い申し上げます。





「米山月間に因んで」

米山奨学生 シュレスタ リエさん

みなさま、こんにちは。

本日は私の夢について卓話をさせていただきます。

25分のお付き合いをお願いします。

私の国ネパールは南アジアにある小さな国です。私は大阪関西航空からタイ航空を使っていますが行き方はいろいろあります。約15時間半かかります。日本からは直線距離約5,250キロメートル離れています。



日本と比べますと大きさは北海道の約2倍14万平方キロメートルになります。人口は約2,933万人です。世界の約0.43%の人が住んでいます。こちらはネパールの旗です。赤はネパールの国の色、国花であるシャクナゲの色とも言われています。赤は喜びの色とも言われています。青色は平和の象徴、海と空を表しています。この形は古代ヒンドゥーの神々によって使われた三角形を模したのもでありヒマラヤの山並みを象るとともに二大宗教であるヒンドゥー教と仏教を意味しており中に描かれている月は平和を、太陽は光を表しています。平和の証が二個も使われているとおりにネパールは平和を愛する国です。月と太陽のもう一つの意味はこの国が月や太陽と同じように持続し発展するようという願いが込められています。

宗教の話をしてみると、ネパールは宗教に熱い国です。世界で唯一ヒンドゥー教を国教としていましたが、世俗国家に転換することが決定されました。宗教戦争が起こっている国もある中、ヒンドゥー教と仏教が混在し見事な調和を保っています。ヒンドゥー教(81.3%)、仏教徒(9.0%)、イスラム教徒(4.4%)です。

時差は、ネパール3時間15分遅れています。といっても分かりにくいので、時計で図にしてみました。ネパールの時間を調べるには、アナログ時計を90°左に回す(日本時間⇒ネパール時間)とわかります。日本が3時15分のときネパールは12時になります。

ネパールの国土の80%は険しい山岳地帯にあり、交通・通信のインフラは、建設コストが高価であるためにまだ未整備のままです。インドに隣接する南部のタライ平野は、マラリア対策が功を奏するまでは人間が入り込めないジャングルでした。





ネパールの最高標高はエベレスト山頂の 8,848 メートルです。世界に 14 座ある 8,000 メートル級の峰のうち、8 座がネパールにあります。マイナス 8℃から 24℃のぐらいの気温だそうです。よくヒマラヤ山脈に登ったことあるのと聞かれますがそんなレベルじゃないのでたやすく登ると死が待ち受けています。

東西 800 キロ、南北 230 キロという小さな国土には山岳地帯から丘陵地帯、溪谷や湖、南部の平原とバラエティ豊かな地形が広がっており、豊かな自然を産んでいます。ヒマラヤを水源とした河川の水資源も豊富ですが、近代化にともない水不足にも悩まされています。

盆地を中心とする都市部およびインドに隣接して経済発展が進んだ地域と、それ以外の山岳地帯、「極西部」など農村部との経済社会格差はきわめて大きいです。

東、西、南の三方をインドに、北を中国チベットに接する西北から東南方向に細長い内陸国です。ネパールに海は存在しません。

その首都であるカトマンズを見てみましょう。カトマンズ盆地の気候、カトマンズ盆地（首都圏）の面積は、甲府盆地山梨県中央部に位地する盆地と同程度。標高約 1,300 メートル（軽井沢と同じくらい）緯度は沖縄と同程度である。沖縄の周りが全部陸地で、そこに軽井沢程度の高原が存在すると考えてもらえるといいです。

東京と比べ夏はそれほど暑くなく（最高気温が 30℃をちょっと越えるくらい）、冬はそれほど寒くありません（雪は降らない）。盆地全体の人口は、約 140 万人ともいわれています。ネパールの地方から、そして北インドから、移住者がどんどん集まり膨張を続けています。水不足と物価の高騰、そしてゴミ処理・大気汚染など都市化による諸問題が深刻です。政府としても、大気汚染緩和のためディーゼル乗り合いデンプー（三輪自動車）の規制など、出来ることから取り組んでいます。

ネパールの通貨はルピーです。1 ルピーは 1.8 円です。100 ルピーで 180 円くらいです。

ネパールの輸出、輸入問題については、輸出が約 8 億アメリカドル、輸入が約 5.4 億アメリカドルです。輸出はカーペット、工業製品、既製服、貿易相手国は輸出がインド、米国、バングラディッシュ、輸入は石油製品、糸、化学肥料。輸入国はインド、中国、アラブ首長国連邦です。主要産業農業はカーペット、既製服、観光です。ネパールは世界で唯一、女性の平均寿命が男性のそれより短い国であるといわれています。ヒンドゥー教の身分差別、男女差別を社会秩序として容認する教義のもとで、早朝から夜遅くまで水汲み、薪取り、炊事や洗濯、子育てなど、過酷な仕事に追い立てられているためである、と考えられています。

